



第122号  
 平成20年1月25日  
 田迎校区公民館  
 館長 東 旭  
 編集委員  
 上田 昭蔵 吉住 久江  
 小林省三郎 西田 孝幸  
 ☎378-5878  
 編集責任 吉野元生

# ふるさと創世

## (住み良い町にくらしの工夫)

### 実践項目

- 一、あいさつ運動
- 一、明るい地域づくり
- 一、子供達に夢と誇りを

校区公民館

### 平成二十年校区新年会 盛會裡に開催する

平成二十年一月五日(土) 田迎校区自治協議会、まちづくり委員会、校区公民館主催による校区新年会が田迎公民館に於いて行われた。  
 新年会は午後六時に開催された。参加者は校区内の各種団体に係る役員等の有志であつて、八十六名の参加であつた。会は、六時から校区公民館の吉野主事の司会によつて進められた。

はじめに、校区公民館長の東旭氏の開会の挨拶によつて始められた。引き続き、校区自治協議会長の西田耕造氏から主催者を代表しての挨拶があつた。西田会長は、「一年間の御協力、御支援によつて無事に行事が進んだ事、今年もよろしく協力の程を」との挨拶があつた。



次に、市議会議員の江藤正行先生と市議会議員の高島和男先生の二人から来賓挨拶があり、その後に来賓の紹介が行われた。その後、前田昇一まちづくり委員長の乾杯の音頭によつて新年会の宴は始められた。宴の途中で参加者全員の自己紹介が各町内毎に自治会長の紹介によつて行われた。宴では、日頃、顔を合わせない者もあり、今年の田迎の町のあり方や各種団体の行事の進め方などについて、楽しく語り合つていた。宴会は二時間半以上続き参加者にとって、本当に有意義な会になった。

### 田迎小分離校用地問題に 光明みゆ

現在田迎小学校は千名を超える過大規模校になつている。地域の住民の方々及び保護者の間にも田迎小学校の分離校についての問題が起きている事は理解されている事と思われ。しかし、財政状況の厳しさ、また建設用地の問題が生じて進展はみられなかつた。



先日、校区自治会に対しての市教育委員会より説明会があつた時に、挨拶文が読まれた。その中に、わずかであるが、田迎小学校の分離校について、光明がさした部分があつた。



市教育委員会の挨拶文の一部には「南部区画第一区画整理事業地内にあります中学校予定地は、暫定調整池であることから、学校用地としての活用が難しいとされていましたが、このたび所管の都市建設局に改めて打診いたしましたところ地区下流側の河川改修の進捗等により学校用地として活用できる可能性が生じて参りました。そこで、教育委員会としま

### 体協主催グラウンドゴルフ行われる

平成十九年十二月二日(日) 校区体育協会(会長石原輝捷氏)主催のグラウンドゴルフ大会が託麻中学校運動場に於いて、住民百名近くが参加して行われた。

はじめに、石原会長より「もつと大勢の方々に参加してほしかった。次回は一人でも多くの友達を連れての参加を」との挨拶があつた。ゲームは、参加者を十六のグループに編成して行われた。優勝者は各グループから一名となつたので、参加者は優勝をめざしての真剣なゲームとなつた。



校区住民参加の大会であるので、老いも若きも同じ土俵の中で年をわすれてのゲームとなる。当日は、天気もよかつたせい、汗を出しての楽しいゲームとなつた。大きく玉を打ちだし走り出す人、力一杯たたいたのに十米も飛ばない人など、各所で喚声が響いていた。ゲームは八ホールを二回の十六ホールで終了した。終了したのは十一時前であつた。全員が心より疲れで満足感にあふれていた。表彰式では、体協より優勝者とホールインワン賞などに賞品が贈られた。最後に石原会長が「次回はもつと参加者を増やしたい。今後の体協主催の行事への多数の参加をお願いしたい。」との挨拶で楽しい会は終了した。